

Community Medicine

— 地域医療の架け橋 —

2007年4月発行

第11号

つばさ

私たちは安全で温もりのある
医療と保健サービスの提供をめざします。

社会保険神戸中央病院

〒651-1145

神戸市北区惣山町2丁目1-1

TEL 078-594-2211

FAX 078-594-2244

<http://kobe-hosp.jp/>



脳卒中センター

平成17年10月に「社会保険神戸中央病院・脳卒中センター」を設置いたしました。ただし、「脳卒中センター」といっても新たな建物や専任のスタッフが設けられたわけではありません。新たにできたのは「脳卒中オンコール」として急性期脳卒中の初期診療にあたる専門医のローテーションを組み、入院後も各部門が集まるミーティングを開催し、急性期治療から退院に向けての診療の流れをスムーズにする「仕組み」です。一昨年秋に脳梗塞超急性期の血栓溶解薬である t-PA が解禁されたのに伴い日本脳卒中学会が「脳卒中学会認定研修教育病院」（当院も該当します）として実施施設の限定化と施設での脳卒中診療体制の組織化を意図し、それに沿うかたちで設置しました。

①脳卒中超急性期からの治療が予後を改善しうる

画像診断機器の進歩、とくに拡散強調画像 MRI および MRA により脳卒中超急性期から精確な病型診断が可能となり、それに対応する治療が実施できるようになりました。特に、t-PA（血栓溶解剤）の投与には脳梗塞発症後3時間以内が必要条件で、当院でも解禁以後数例の患者様に投与しましたが大半で有効性が確認されました。

②チーム医療によりスムーズな治療の流れをつくる

脳卒中発症から治療、ケア、退院への過程において、医師（脳神経外科、神経内科、循環器科）、看護師（ICU、急性期病棟、回復期病棟、退院支援）、薬剤師、放射線技師、検査技師、リハビリテーション技師、栄養士、ソーシャルワーカーなど多職種の医療関係者が関わりますが、脳卒中センターの設置によりその連携を強化し、切れ目のない治療を行っています。また、急性期治療後の退院にむけての調整には地域医療推進室に退院調整看護師、ソーシャルワーカーをおき、医師、在宅医療、施設関係者と連絡をとりながらすすめています。

4月現在の「脳卒中オンコール」の体制は脳神経外科専門医3名と神経内科専門医1名の計4名でローテーションを組んでおります。救急搬入については当直医からのコールで初期診療にあたり、地域の医療機関からの紹介は地域医療連携室ないし事務当直が窓口となっています。

脳卒中とくに脳梗塞、クモ膜下出血は超急性期の診断治療が重要で、急性発症の半身の麻痺やしびれ、ろれつが回らなくなる症状や今までにない突然の激しい頭痛などがあれば救急車で、もよりの「脳卒中病院」に駆けつけることが必要です。

（脳神経外科部長 松本圭吾）



近隣医療機関のご紹介

木村眼科医院

〒651-1142

診療科目：眼 科

神戸市北区甲栄台4丁目1-13

北鈴神鉄駅ビル2階

診療時間：9：30～12：30

15：30～18：30

電話 078-591-2500

休診日：水・日・祝日、土曜午後



木村 稔 先生



神戸電鉄北鈴蘭台駅の上、北鈴神鉄駅ビルの2階にて眼科一般診療及びコンタクトレンズ診療を行っております。

開業時期がちょうど、社会保険神戸中央病院が現在の場所に移転してこられたのと同時期であったのと、当時は、眼科領域の最も一般的手術であります白内障手術を日帰りで行う事が稀でありましたので、白内障手術を中心に様々な患者様（眼科以外の診療科も含め）を紹介させて頂き、お世話になっております。

昨今、眼科のみに係らず、全般的に医療機器の開発・手術手技の進歩はめざましいものがありますので、高度先進医療分野に関しまして、今後とも社会保険神戸中央病院と親密な連携を取らせて頂き、地域の皆様の「目の健康」に貢献できればと考えておりますので、何卒よろしくお願いいたします。



社保神戸

スポットライト

最新型64列マルチスライスCT



**より速く、より精細に、より広範囲に、
3拍子揃った、とにかくすごいマシーンです。**

4月より、最新型64列マルチスライスCTが導入されました。これまでのCT装置に比べ、はるかに高性能で数多くの検査が可能になりました。日本の3大疾病である「脳卒中」「心臓疾患」「がん」の発見などに大きく貢献できる医療装置です。

また、従来のCT装置で検査経験がある患者様からは、撮影時間の短さに驚きの声をいただいております。

この最新型CTを利用し、地域の皆様に高度な医療の提供が行えるよう努めて参ります。

◇近隣医療機関の先生方へ◇

講演会及び、見学会を予定しております。詳細が決まり次第お知らせいたします。



新任医師紹介



藤井 渉：内科
若輩者ですが、誠実な診療を心がけていると思いますので、よろしくお願い致します。



宇宿 智裕：小児科
小児神経学
お子さんのことと体の健康について何でもご相談ください。よろしくお願い致します。



大島 富太郎：眼科
この度、4月より着任いたしました。地域の皆様のお役に立てる、やさしい医療を心がけています。何でもお気軽にご相談ください。



松田 和也：脳神経外科
頭部外傷・脳血管障害
地域の皆さまのお役に立てるよう、頑張っています。よろしくお願い致します。



山本 和人：循環器科
虚血性心疾患
4月から循環器科を担当させて頂いています。『初心忘れるべからず』をモットーに患者様から信頼される医療を目指します。



岩田 敏之：内科
去年から引き続き当院にて勤務する事となりました。皆様のお役に立てるよう頑張ります。



酒井 新：内科
当院での初期研修を終了し、内科専攻医として勤務することとなりました。皆様のお役に立てるよう努力します。宜しくお願いします。



西崎 雅也：眼科
神経眼科・斜視
『最小限の負担で最大限の治療効果を』が私のモットーです。『眼』でお困りの事があれば、ドンドン相談してください。



田中 匡：放射線科
病院の力になれるよう頑張りますので、よろしくお願い申し上げます。



坪井 寿人：消化器科
特に、上・下部消化器内視鏡を専門としています。よろしくお願い致します。



北川 真希：外科
地域の皆さまのお役に立てるよう尽力して参ります。乳癌・消化器癌の検診を受けに来てください。



辻川 敬裕：耳鼻咽喉科
わかりやすい診療を心がけて参ります。みみ・はな・のどにお困りのことがあれば、是非ご相談ください。



岡島 誠一郎：リハビリテーション科・整形外科
手の外科・末梢神経外科
自分の得意分野を生かし、患者様のいろいろな疾患に対する治療に頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。

研修医（1年次）

中本 裕介 家本 孝雄 清家 尚彦



山脇 敬博 林 由布子 坂崎のり子



研修医（2年次）



大本 哲也

品川 秋英

退任医師のお知らせ

内科：阪本 健三
森寺 紀子
小児科：柴田 真弓
外科：鈴木 智之
整形外科：杉田 誠
産婦人科：加藤 俊

眼科：中筋 康夫
小西 貴之
耳鼻咽喉科：藤田 朋己
放射線科：奈良 佳典
麻酔科：青木 裕司
消化器科：兼子 俊朗

研修医：丹家 幸
森 至弘
曾我美 朋子
張 孝徳
能登 完美





社会保険神戸訪問看護ステーションよりワンポイント

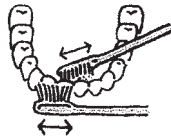
さくらの花びらがちらちらと、新緑が芽吹いて参りましたが、いかがお過ごしですか？

暖かい日、寒い日となかなか体温調節も難しく、インフルエンザや風邪が流行りました。今回は「誤嚥（ごえん）による肺炎を予防するために」から『自分で出来る お口のお手入れ』をご案内します。誤嚥とは、食道に入るはずの飲食物が気管や肺に入る事です。誤嚥しやすい方では、お口の中に雑菌があると、気管や肺へ入ってしまい、肺炎の原因になります。お口の中をいつも清潔にしましょう。

お口を清潔に保つために

歯みがき

- ・歯ブラシを軽くあて、細かく前後に動かす
- ・頬の内側や舌もブラッシングする



入れ歯の手入れ

- ・食事の後は、入れ歯をはずしてみがく
- ・専用の洗浄剤で定期的に汚れをおとす



うがい

- ・うがい薬を使用し1日6～8回行う
- ・頬と舌をしっかりと動かしてうがいする
- ・うがい薬のにおいが気になる場合は緑茶やウーロン茶で



汚れのふき取り

- ・自分で歯みがきができない場合や汚れがひどい場合に行う
- ・うがい薬を含ませたガーゼで1日4回（毎食後および就寝前）ふき取る



医学常識のうそ？ほんと！

花粉症の人は果物アレルギーを起こしやすい?!

花粉症を起こす花粉アレルギー（原因となる抗原）と、特定の果物・野菜が持つアレルギーが共通するため、口から入ったアレルギーと、花粉症を起こす抗体が反応してアレルギー反応を引き起こします。

*口腔アレルギー症候群のことを、一般には果物アレルギーと呼びますが、実際には野菜も含んでいます。

口腔アレルギー症候群では、特定の果物（野菜）を口に入れると、花粉を吸い込んだ時と同じように、のどの奥、唇、舌にかゆみを覚えます。

さらに、吐き気や下痢などの消化器症状を起こします。花粉症ではあまり起きない喘息発作を起こすこともあります。

花粉と果物アレルギーの関係	
原因となる花粉	注意すべき果物・野菜
スギ・ヒノキ	トマト
シラカバ	バラ科（リンゴ・モモ・サクランボ・ナシ・イチゴ・ウメなど）キウイ、ニンジン、セロリ、クルミ
ブタクサ	すいか、メロン、きゅうり、バナナ
カモガヤ	メロン、オレンジ、トマト、バナナ、セロリ、ジャガイモ
ヨモギ	リンゴ、キウイ、ニンジン、セロリ

果物アレルギーを起こす果物を覚えて予防!!

何か果物（野菜）を食べ、口に違和感を覚えた時はその果物をまず記憶しましょう。

おいしい栄養学

鯛の野菜蒸し

栄養課 小林 正昭

鯛は良質のたんぱく質を多く含み、消化吸収がよく、ビタミンB1、B2、ナイアシンなどビタミンB群を多く含みます。また、タウリンも多く疲労回復に役立ちます。

＜材料 2人分＞ 1人分91kcal

- 鯛…2切れ（70g×2） 塩…小さじ1/5
- 酒…小さじ1 人参…10g 生椎茸…20g 長葱…20g
- みつば…2g 昆布…2枚（5cm×10cm）
- A（だし汁…大さじ1杯半、薄口醤油…小さじ1、みりん…小さじ1）

＜作り方＞

- ① 鯛は骨を取り、塩、酒を振り20分程置く。
- ② 人参は4cm長さのせん切り、生椎茸は軸を落とし薄切り。長葱は4cm長さに切り、芯を取り縦に細切り。
- ③ みつばは3cm長さに切り、昆布は水に漬けもどしておく。
- ④ バットに昆布を敷き、その上に鯛、②の野菜をのせ、蒸気のあがった蒸し器に入れ、強火で6分蒸す。さらにAの合わせだし汁を全体にかけて3分蒸し、最後にみつばをのせてさっと蒸す。
- ⑤ 器に④を盛り、蒸し汁をかける。



ホームページが新しくなりました

どうぞ、ご覧ください
なお、更新にともない、アドレスを変更いたしました

<http://kobe-hosp.jp/>